

INFORMATION

No. 28005

平成28年6月8日

検査受託中止及び新規受託開始のお知らせ

この度、下記のとおり検査受託中止及び新規受託開始をさせて頂きたくご案内申し上げます。

記

【検査中止項目】

検査の手びき掲載頁	項目コード	検査項目	中止理由	代替項目
92	4271	特異的IgE MAST33	新規受託開始に伴う受託中止	特異的IgE MAST36 ※下記項目をご参照下さい。

【最終受付日】 平成28年6月29日（水）

【新規受託項目】

検査の手びき掲載頁	項目コード	検査項目	検査内容	
未掲載	2940	特異的IgE MAST36	検体量	血清0.5mL
			容器	① 真空採血管（茶色キャップ） （検査の手びき掲載頁200P参照）
			保存	冷蔵
			報告	4～6日
			検査方法	CLEIA
			基準値 （単位）	MASTクラス 0 1.39以下（LC）
			実施料	1430点（判断料：免疫学144点）

※ 判定基準、アレルギー一覧表は裏面をご参照下さい。

【受託開始日】 平成28年6月13日（月）



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

●特異的 IgE (MAST36 アレルゲン)

従来の特異的 IgE (MAST33 アレルゲン) に新たな3つのアレルゲンを組み合わせて、特異的 IgE (MAST36 アレルゲン) の受託を開始いたします。

新たにアレルゲン (アスペルギルス、トマト、モモ) が追加され、特異的 IgE (MAST36 アレルゲン) となります。アスペルギルスは、自然界において最も普通にみられるカビの一種で、気管支喘息との関連が知られています。トマトは、ヒスタミンやそれに類似する物質を多く含んでいることが知られています。モモはバラ科の植物でシラカンバやハンノキの花粉と共通の部分があり、これらの花粉が原因でバラ科の食品アレルギーが誘発されることが注目されています。このように、アレルゲン検査において新たにニーズの高い3項目が加わりました。

▼アレルゲン一覧

アスペルギルス、トマト、モモが加わりました

コナヒョウヒダニ、ハウスダスト1、ネコ皮膚、イヌ皮膚、オオアワガエリ、カモガヤ、ブタクサ混合物1、ヨモギ、スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カンジダ、アルテルナリア、アスペルギルス、ラテックス、トマト、モモ**、キウイ**、バナナ**、ゴマ**、ソバ*、小麦*、ピーナッツ*、大豆**、米、マグロ、サケ**、エビ*、カニ*、ミルク*、豚肉**、牛肉**、鶏肉**、オボムコイド*、卵白*

*：食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルゲン

**：表示を推奨されている「特定原材料に準ずるもの」に関するアレルゲン

▼判定基準

判定	MASTクラス	ルミカウント (LC)
陰性	0	0~1.39
疑陽性	1	1.40~2.77
陽性	2	2.78~13.4
	3	13.5~58.0
	4	58.1~119
	5	120~159
	6	160~200

●参考文献

中川 武正、他：アレルギーの臨床26 (3)：238~242、2006。(検査方法参考文献)

岩崎 栄作、他：日本小児アレルギー学会誌 4 (1)：87~95、1990